

# 日光市広報

7月号

(通65号)

栃木県日光市中鉢石町999

日光市役所

編集 統計広報係

印刷 (有)中津印刷所



## 自然に親しむ運動

7月2日-8月20日

### 自然に親しみ 自然を大切にしよう

ことしも7月21日から8月20日まで「自然に親しむ運動」が行なわれる。国立公園、国定公園、その他の景勝地や温泉地などの自然環境を大切にすること。そしてこれらの環境の中から自然科学に関する知識を学び、同時に

健康を増進させようというのがねらいである。なお期間中に行なわれる国立公園大会は、8月に入つて北海道シコツ湖畔で開催される。

(写真 裏男体の朝)

昭和29年7月、県、市、古河電工、東武、二社一寺など関係者間に覚書が交換されて、解決するかにみえた神橋わき「軌道橋」と重要文化財「神橋」の完全復元問題も、中央とくに厚生省および文部省の「最少限杉伐採八本」ということによつて、今日まで解決されずにいるが、東京オリンピックが決定した今日、国道整備計画がとりあげられ、それにもなつて栃木県内の幹線道路も整備することになった。そのひとつとして、明治38年かけられ、すでに老朽化している「日光橋」をかけ替えることになり、すでに工事がはじめられている。

最近神橋附近の交通量は、イロハ坂の完成とともに急激に増加し、昨年の全国交通調査では多い時には、昼間12時間に一万台をこえるという数字があげられている。

これに加えてことしから金精峠の開さくも始められ、また第2イロハ坂でも具体化すれば交通量は飛躍的に増加しよう。

こうした増加にともない、人命の安全措置も当然考慮されなければならず、安全性からすれば神橋附近はとうのむかしに限界をこえているのは否定出来ない現実だ。幸いにして日光橋は今年度中に新しい橋がかけれ(3頁参照)交通上の難所であつたこの地点が、大巾に改良されることは市民にとつても、内外観光客にとつても喜ばしいことである。残る問題は、この橋に続く道路の改良で、さまざまの問題が一日も早く具体化することを中央に望み、三万三千の日光市民も一致した与論をもちあげたいものである。道路対策が7年後の冬季オリンピック招致のカギであることも、このさい改めて考えてみなければならぬことである。



(工事のはじまつた日光橋)

#### わたくしたち日光市民は

- よい風習をそだてましょう。
- 美しい環境をつくりましょう。
- 生産の向上をはかりましょう。
- 文化財の愛護につとめましょう。
- 旅行者を温かく迎えましょう。

- 1 市政展望
- 2 市政ニュース
- 3 掲示板、今月の問題
- 4 市民のひろば、ともしび
- 5 市民の社会科
- 6 季節の手帳、市政トピックス

#### 日光市の人口

(6月1日現在)

世帯数	7,530	5月中の
人口	33,146	出生・死亡
男	16,118	20 6
女	17,028	転入・転出
		13 8